

事務事業ID
1084

平成27年度 事後評価

事務事業マネジメントシート

作成日 平成28年3月25日

更新日 平成28年3月25日

事務事業名		集会所建設等事業費補助金交付事業					担当部	市民生活部	担当課	市民生活部市民協働課	
							担当係	地域づくり係			
政策体系	政 策	001	ともに紡ぐ協働のまちづくり					事業区分	新市建設計画・一般業務		一般業務
	施 策	1	地域の個性を活かしたまちづくりの推進						新規事業・継続事業		継続事業
	基本事業	2	地域自治の推進						計画事業・経常事業		計画事業
									市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予 算 科 目		会計	款	項	目	大 事 業			実施形態		補助
		一般会計	2	1	13	集会所施設整備事業費		事業期間	～		

【PLAN（計画）】

施策の目的 (最終目標)		多くの人々がさまざまな市民活動に主体的に関わり、協働により自立した魅力あるまちづくりを推進する。							
施策の直近の目標 (施策マネジメントシートから要約転記)		1:市民と行政が良好なパートナーとして、お互いの特性を活かしながら、地域課題の解決に向けて事業を推進する。 2:各地域自治組織における活動情報を共有し、地域課題の解決や地域住民の意向を反映させた事業を推進する。 3:地域間交流や国際交流を推進するため「友好交流都市の締結」や「市民交流を含めた各種交流事業」を促進し、伊達市の魅力を全国に発信する。							
目指すべき状態 (目的・成果)	①対象 (誰、何に対して事業を行いますか)	集会所の新築、増改築、修繕が必要な町内会		②意図 (どのようなことを目指しますか)	地域自治(町内会等)組織を円滑に運営及び集会等を行えるようにする				
	③ 目指すべき状態(①、②)になるために必要なことは何ですか？ 【成果の視点】	集会所(施設)を安心して利用できるか							
	④成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	集会所の新築、増改築又は修繕への補助金交付件数	件	見込み値	8	9	10	10	10
				実績値	8	9	0	0	0
B			見込み値						
			実績値						

【現状把握】

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市が町内会等の地域住民の集会の用に供する施設を新築、増改築又は修繕に要する経費の一部を補助。合併後も引き続き補助金を交付し、地域組織の円滑な運営及び集会等を行えるようにする。 事業開始のきっかけ、時期は不明。集会所を新築、増改築又は修繕する際に要する町内会(地域住民)の経費の負担を軽減するために開始された。
この事務事業の「対象」の現状はどのようになっていますか？	地域によっては、施設の老朽化が著しく、築50年以上の古い建物も多い。また、高齢者利用の増に伴い施設修繕要望件数が増大。特に、高齢者の使用頻度が多いことから、和式トイレから洋式トイレの要望も近年多くなってきている。

【DO（実施）】

手段	事業概要	町内会等が地域住民の集会の用に供する施設(集会所)を新築、増改築又は修繕する際に要する経費を要綱に基づき補助する。 (事業費の1/2市補助、地元負担1/2) 修繕・・・100万円を限度 増改築・・・300万円を限度 新築・・・500万円を限度
	主な活動	年度実績(実施した主な活動) (平成27年度実績) ・一般修繕・・・7件 ・増改築・・・2件

【総事業費】

投入量	事業費	財源内訳	年度	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
			単位					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	5,408	5,462	9,500	9,500	9,500
		事業費計 (A)	千円	5,408	5,462	9,500	9,500	9,500

事務事業 ID	1084	事務事業名	集会所建設等事業費補助金交付事業	担当 部	市民生活部	所属 課	市民生活部市民協働課
------------	------	-------	------------------	---------	-------	---------	------------

SEE（振り返り評価・改革改善策） ※原則事後評価

目的 妥当性	①この事務事業の目的(対象・意図)は、政策・施策目的と合致していますか？		
	1:行政経営方針と目的が合致している	理由	集会所施設を安心して利用するための修繕等補助することで地元負担を軽減し、施設利用頻度を促進させ安全かつ円滑な地域運営を図ることの目的と合致している。
	(合致していない場合は、合致する施策名・目的を記入してください)	見直し案	
	②この事務事業の現在の対象と意図は妥当ですか？		
	1:対象・意図ともに妥当である	理由	地元集会所施設を利用した円滑な活動運営するうえで、安心した施設修繕等経費補助の継続が必要
	(検討の余地がある場合、見直し後の対象・意図も記入してください)	見直し案	
有効性	③本市が関与すべき事務事業ですか？		
	1:民間やNPO等で類似事業を行っておらず市が行う以外にない	理由	自治体が補助する事業
	(民間事業者、NPO等が実施すべき場合は、関与すべき主体も記入してください)	見直し案	
	④目的(対象・意図)、成果の視点から現状を見て、この事務事業の取組みにより、成果は上がっていますか？		
	2:成果の視点に掲げたことの達成率はまだまだ低い	成果が上がっている点を理由を付して記入してください	・修繕等により安全安心の施設整備に伴い施設の使用頻度が増えている (高齢者の要望においてトイレ改修(和式から洋式)が地元要望として多く、改修後の施設利用しやすい成果あり)
		成果が上がっていない点を理由を付して記入してください	
効率性	⑤現在の事務事業の成果(上記④)は、成果の視点から見て、次年度の成果をどのように考えますか？		
	2:現状維持とする	理由	引続き補助制度を継続し地元負担を軽減させ、安全な施設整備を図る
	さらに向上させる及び向上・維持は見込めない場合、見直し後の成果の視点を記入してください	見直し案	
	⑥国・県及び市内において統合または連携可能な類似事務事業はありますか？		
	1:国・県・市内に目的を同じくする他の事業はない	理由	市単独補助
	(連携または統合が可能である場合、見直し案を記入してください)	見直し案	
効率性	⑦必要な活動に対して事業費は適切ですか？(成果を下げずに事業費を削減できませんか？)		
	1:適切である	理由	事業主体側(町内会等)においても、総事業の1/2の負担があり、総会時などにおいて修繕する旨の了承を得た上で事業実施しているのが現状である。補助修繕要望においても中規模修繕が多くなりつつ、現状の事業予算の削減は厳しい。
	(削減取組中の場合は取組内容を、圧縮の余地がある場合は見直し案を記入してください)	取組内容/見直し案	
	⑧必要な活動に対して仕事の進め方は効率的ですか？(成果を下げずに業務時間を削減できませんか？)		
	2:業務時間短縮等効率化に現在取り組んでいる	理由	事務処理、現場確認、検査等において時間削減に向け取り組んでいる
	(効率化取組中の場合は取組内容を、効率化を図る余地がある場合は見直し案を記入してください)	取組内容/見直し案	

【評価結果】

総合評価	継続実施(現行どおり)	今後の事業全体の方向性と その内容	集会所の老朽化等により地域からの修繕等の要望が見込めることから引続き補助金交付を実施する。
------	-------------	----------------------	---

次年度へ向けた 具体的な行動・	目的・成果の視点を達成するために、「達成できた事項をさらに伸ばす方策」及び「解決すべき問題への方策」「新たな取組み」を具体的に記入してください
	地域(地元)にとって集会所施設は、総会・会議等を行う場の施設であり、憩いの場でもある。その施設を快適に利用するため修繕等を行い環境整備は重要なことである。修繕要望の提出後、できる限り早急に修繕等できるように事務処理を進め、施設を利用する市民の安全安心な施設にするため補助を進める。

コ メ ン タ リ	担当者として事業を進めていてうれしかったこと、悩んでいること、市民に伝えたいことなどについて記入してください。
-----------------------	---

係・課内での 意見交換実施日	係内	課内
		28.3.31